

EPA 創立 100 周年記念行事

La 100-jara Memorevento de la Fondiĝo de EPA

Ni faru la mondon
plena je Esperanto!



※ Ni faru la mondon plena je Esperanto! は「世界をエスペラントで満たそう!」という意味です。

日時(主要な行事):2023年9月16日(土)~18日(月・祝)

場所:天恩郷

〒621-8686 京都府亀岡市天恩郷

主催:エスペラント普及会(EPA)



EPAのウェブページ:

<https://www.facebook.com/EPAOomoto/>

メールアドレス:officejo@epa.jp

日程(詳細は、別紙参照)

9月15日(金)

海外参加者が到着

9月16日(土)

10:00 オリエンテーション

13:00 シンポジウム(※1)

14:30 班分け。神苑参観。お茶席

19:00 分科会

9月17日(日)

10:00 EPA創立100周年記念行事(※2)

12:15 記念写真

14:00 大本エスペラント歌祭(※3)

15:30 記念講演(※一般公開)

17:00 懇親会

9月18日(月・祝)

8:30 綾部へエクスクルソ(参拝)

17:00 解散

18:30 支部交流会のオリエンテーション

9月19日(火)

各EPA支部での交流会

※1、2、3のプログラムは、オンライン参加者(要参加申し込み)向けにZoomウェビナーでライブ配信を行う

※一般公開のプログラムは、ユーチューブでライブ配信を行う

※新型コロナ感染拡大状況により、プログラムを変更する場合あり

記念講演(一般公開) ※エス・日

9月17日(日) 15:30~17:00

ザメンホフ博士の曾孫

Margaret Zaleski-Zamenhof

氏(医師)による講演「エスペラントとザメンホフ一家」



EPA創立100周年記念祭典・行事 ※エス・日

記念祭典。奉納:仕舞、エス訳愛善歌、La

Espero。(引き続き)記念行事:EPA名誉会

長ご挨拶、本部長(UHA会長)挨拶、EPA

理事長挨拶、海外・国内来賓挨拶、功労者表

彰、青壮年による発表

大本エスペラント歌祭 ※エス・日

本部職員の朗詠者の他、地方から青年朗詠者

数人を募集する。舞姫あり

献詠歌募集について

締め切りは、2023年5月14日(日)。エス

ペラント献詠歌投稿の際には、日本語の大意、

もしくは訳を添えること。日本語での投稿も

可。朗詠されるのは、エス語献詠歌のみ

シンポジウム ※エス語のみ

9月16日(土) 13:00~14:30

テーマ:EPA100年後の夢(仮)

登壇者未定

分科会 ※エス語のみ

9月16日(土) 19:00～21:00

会場は、安生館5階の和室。会場が限られるため、先着順。EPA関係者も申し込み可能。申し込み締め切りは、2023年5月14日(日)

懇親会

9月17日(日) 17:00～21:00

青年部、青松会、直心会、誠心会の各会有志による各会歌のエス語による合唱

記念行事参加費

- (1) 国内・海外参加者①(3日):
8,000円 青少年:6,000円
- (2) 国内・海外参加者②(2日):
6,000円 青少年:4,000円
- (3) 国内・海外参加者③(1日):
3,000円 青少年:2,000円
- (4) 個人賛助参加(国内のみ):1,500円
- (5) 団体賛助参加:10,000円以上(一口)
- (6) 全日程の海外参加者
(15日夕食～18日昼食:4日間)
:10,000円
- (7) オンライン参加者:無料

※青少年=小学3年生～30歳以下の大本青少年部員

(5)の団体賛助参加費は、EPA創立100周年記念行事における青少年の参加費ならびに宿泊費の補助に充てる。団体賛助参加は、記念品として1団体につき1枚、エス語愛善歌CDを受け取る。(7)のオンライン参加者は、記念品なし。なお、日本人参加者の参加費に、食費は含まれるが、宿泊費は含まれない。小学2年生以下の参加者については、実費を徴収する。

宿泊

天恩郷内の宿泊施設は、外国人エスペ란ティストが優先的に利用する。国内参加者は、外部のホテルを利用

記念写真

参加者にデータで送付

参加記念品

ポケットボトル(予定)

エスペ란ティスト文芸展示

絵、書、陶芸など、エスペ란ティストやザメンホフ博士に関する作品ならなんでも可。作

品は、エスペ란ティスト普及会に申し込みの上、2023年8月末日必着。作品の返却については、要相談。展示場所は、みろく会館1階受付前。展示期間は、9月15日(金)～20日(水)

記念展示 ※エス・日

EPA 100周年記念パネル展示《みろく会館2階ギャラリー横の廊下》もしくは《みろく会館1階受付前》、NV原画展《みろく会館3階ラウンジ》を行う。展示期間は、9月15日(金)～20日(水)

オンライン配信

16日のシンポジウム、17日のEPA創立100周年記念祭典・行事、大本エスペ란ティスト歌祭は、Zoomウェビナーを使ってオンライン参加者向けに、ライブ配信を行う。17日の記念講演は、一般公開プログラムとし、YouTubeでライブ配信を行う

参加申し込み期間

2023年2月4日(土)～

EPA 100周年記念出版

- ①エス語『霊界物語』第1巻
訳者:前田茂樹氏 価格:未定
- ②エス語愛善歌CD
(全15曲+La Espero) 1枚1,500円

EPA 支部主催交流会

開催を希望するEPA支部は、2022年12月末日までにEPAに申し込む

連絡先

エスペ란ティスト普及会(EPA)
〒621-8686 京都府亀岡市天恩郷
TEL:0771-56-9074
FAX:0771-22-9949
HP:<https://www.facebook.com/EPAOomoto/>
E-mail:officejo@epa.jp

このLa 1-a Informilo(日本語版)へは、下からアクセス可



EPA創立100周年記念行事（2023年）日程

2021.11.25 現在

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
時間	9/15(金)	9/16(土)	9/17(日)	9/18(月)	9/19(火)	9/20(水)
6:00	9:00 関西空港へ到着					EPA〇〇支部から 関西空港他へ移動 帰国の途へ
7:00		6:30 朝拝・朝食	6:30 朝拝・朝食	6:30 朝拝・朝食	6:30 朝拝・朝食	
8:00					8:00 EPA〇〇支部へ移動	
9:00		8:30 朝礼後、海外参加者紹介		8:30 綾部・梅松苑へ移動		
10:00		10:00 オリエンテーション みろく会館ホール	10:00 EPA創立100周年記念祭典・行事 奉納《Sunlumo・La Espero、仕舞》 青壮年数人によるエス発表 万祥殿	10:00 長生殿参拝・巡拝 緑寿館参拝		
11:00		11:30 昼食	12:15 記念写真 昼食	12:00 昼食		
12:00						
13:00		13:00 シンポジウム “EPA100年後の夢”（仮） みろく会館ホール	休憩	13:00 みろく村拝観 奥都城参拝	13:00 EPA〇〇支部主催① 懇親会に参加 （午後の部）	
14:00		14:30 班分け	14:00 大本エスペラント歌祭 万祥殿	15:00 天恩郷へ移動		
15:00		班ごとに 神苑参観	15:30 記念講演 「エスペラントとザメンホフ一家」 万祥殿			
16:00	青少年茶席 みろく会館 ロビー					
17:00	17:00 天恩郷に到着 夕食	17:10 夕拝 夕食	17:00 懇親晚餐会 （出し物、武道、太鼓 愛善歌、寸劇、みろく踊り他） みろく会館ホール	17:00 天恩郷に到着 夕食	※シンポジウムとEPA創立100 周年記念祭典・行事、大本エ スペラント歌祭については、 Zoomウェビナーで、オンライ ン参加者（要参加申し込み） 向けに配信する。 ※記念講演は一般公開プログ ラムとし、YouTubeでライブ 配信を行う。	
18:00	19:00 プレ懇親会 みろく会館ホール	19:00 分科会 「歌祭・献詠歌」「人類愛善会」 「Katalin講座」他 安生館5階		18:30 EPA支部主催 懇親会参加予定者のオリエンテーション		
19:00				19:00 EPA〇〇支部主催② 懇親会に参加 （夜間の部）		
20:00						
21:00	21:00 入浴	21:00 入浴	21:00 入浴	21:00 入浴		
22:00						
23:00	宿泊(天恩郷)	宿泊(天恩郷)	宿泊(天恩郷)	宿泊(天恩郷)		宿泊先をお世話(EPA支部)

EPA100 周年エス語歌祭に向けて

－エス語朗詠短歌の作り方－

監修：前田茂樹

文：奥脇俊臣

2023 年の EPA100 周年まで、残すところあと 2 年になりました。EPA 創立 100 周年記念行事におけるエスペラント歌祭には、エスペラントの献詠歌がたくさん集まってほしいと思います。そこで今回は、現在 EPA で採用しているエスペラント朗詠短歌の作り方について、解説します。まずは、日本語で短歌を作り、エスペラントに訳していきましょう（短歌にしたいテーマを何となくイメージし、関連の単語を書き出し、その後、朗詠短歌として整えていくという方法もあります）。

その上で、エス語朗詠短歌を作るには、下の 3 つの約束事を守りましょう。

① 5、7、5、7、7 の 5 段、計 31 音節で作る。

② 各音節の強弱は、強・弱・強・弱... の繰り返して、単語のアクセントは、必ず強のところに来なければならない（単語のアクセントのところ以外の音節は、強、弱どちらに来て構わない）。

③ 冠詞 la の a、名詞の語尾 o は、アポストローフォを付けて省略することができる（ただし、la の省略は、直前の単語が、母音で終わる前置詞の場合に限る）。

下の作詞例を元に、解説していきます。なお、この歌は八雲神歌「八雲立つ 出雲八重垣 妻ごみに 八重垣作る その八重垣を」をエス語朗詠短歌向けに、前田茂樹氏が翻訳されたものです。

Ha, senĉese nub'
leviĝas ĉe Izumo
kiel la palac'
ja multoblebarila,
tiun dikbarilon mi.

まず、①「5、7、5、7、7の5段、計31音節で作る」ですが、下を見てください。

〈1段目〉	Ha,/sen/ĉe/se/nub'	5音節
〈2段目〉	le/vi/ĝas/ĉe/I/zu/mo	7音節
〈3段目〉	ki/el/la/pa/lac'	5音節
〈4段目〉	ja/mul/to/ble/ba/ri/la,	7音節
〈5段目〉	ti/un/dik/ba/ri/lon/mi.	7音節

1段目のHa, senĉese nub'の音節は、Ha,/sen/ĉe/se/nub'の5つです。音節とは、母音を中心に、その母音単独、あるいは、その前後に1個または複数の子音を伴って構成する音声（群）で、音声の間こえの一種のまとまりです。音節の数は、母音の数と同じになりますので、1段目の母音の数は5、2段目は7、3段目は5、4段目は7、5段目は7にならなければなりません。

この5、7、5、7、7よりも音節の数が多くなると、いわゆる字余りの歌に、少なくなると、字足らずの歌になってしまいます。字余り、字足らずの歌にならないようにしてください。また、5段に文章が区切られるわけですが、各段ごとで意味のまとまりを保つように心がけましょう。例えば作詞例の3段目のkiel la palac'の部分が、

〈3段目〉...kiel

〈4段目〉la palac'...

のように段をまたぐのは、良くありません。単に31音節で単語を並べさえすれば良いというわけではありませんので、注意が必要です。

次に、②の「各音節の強弱は、強・弱・強・弱...の繰り返しで、単語のアクセントは、必ず強のところに来なければならない（単語のアクセントのところ以外の音節は、強、弱どちらに来ても構わない）」について解説します。

<1 段目>	● ○ ● ○ ●	●…強
<2 段目>	○ ● ○ ● ○ ● ○	○…弱
<3 段目>	● ○ ● ○ ●	
<4 段目>	○ ● ○ ● ○ ● ○	
<5 段目>	● ○ ● ○ ● ○ ●	

エス語朗詠短歌は 31 音節で作りますが、各音節には「強」「弱」が、上のように割り振られています。1 段目の最初の音節は「強」、次の音節は「弱」。以下、「強」「弱」が繰り返して割り当てられています。

エスペラントの（2 音節以上の）単語には、後ろから二つ目の母音に必ずアクセントがあります。例えば、作詞例の 1 段目に *senĉese* という単語があります。この単語は、*ĉ* の後の *e* にアクセントがあり、このアクセントのある音節は、「強」のところに来ています（下参照）。

このようにアクセントのある音節は、必ず、「強」のところに来なければなりません。アクセントがない 1 音節の単語や、2 音節以上の単語でもアクセントのある音節以外の音節は、「強」「弱」どちらに来ても構いません。

作詞例の歌を音節ごとに分解し、実際に「強」「弱」が合っているか、確認してみましょう。

	●	○	●	○	●		
<1 段目>	Ha,	sen	ĉe	se	nub'		
	○	●	○	●	○	●	○
<2 段目>	le	vi	ĝas	ĉe	I	zu	mo
	●	○	●	○	●		
<3 段目>	ki	el	la	pa	lac'		
	○	●	○	●	○	●	○
<4 段目>	ja	mul	to	ble	ba	ri	la,
	●	○	●	○	●	○	●
<5 段目>	ti	un	dik	ba	ri	lon	mi.

この歌の中で、アクセントがある単語は、senĉese 以外では、leviĝas, kiel, palac', multoblebarila, tiun, dikbarilon です (Izumo は日本語の固有名詞のため、アクセントは不問)。いずれも単語のアクセントのある音節が「強」にきています。アクセントのある音節に・を付けていますので、左下で確認してみてください。

なお、palac' は palaco という単語の名詞語尾 o を省略し、アポストローフォを付けて palac' としていますが、アクセントの位置は、c の前の a のままです。間違えないようにしましょう。

③つめの「冠詞 la の a、名詞の語尾 o は、アポストローフォを付けて省略することができる (ただし、la の省略は、直前の単語が、母音で終わる前置詞の場合に限る)」については、作ったエス語朗詠短歌の音節が、31 音節よりも多くなってしまった場合など、音節を減らすのに有効です。作詞例では、前述の palac' のように名詞語尾 o を省略することで、3 段目の音節の数を 5 つにしています。

ただし、la については、どんな場合でも a を省略することができるといわけではありません。

la の a の省略は、de l', pri l', pro l' のように先行する前置詞が母音で終わっている場合に限られます。というのも、l' の前後が子音だと、発音するのが非常に難しくなってしまいます。

また、l' avo, l' ano, l' amo など、la の後に母音で始まる単語が来ると、それぞれ lavo, lano, lamo といった別の単語と混同してしまうこととなります。

エス語朗詠短歌を作るのは、簡単ではありません。一つの高尚な詩を作るようなもので、この 3 つのルールを満たすために、単語を入れ替えてみたり、試行錯誤する時間がそれなりに必要になります。それ以前に、エスペラントできちんとした文章が書けることが前提になります。まずは、しっかりエスペラントの文法を習得し、文章を書けるようになりましょう！

道のりは遠い…と思うかもしれませんが、エスペラント歌祭までには、あと 2 年もあります。今から準備して 2023 年のエスペラント歌祭で、エス語朗詠短歌の献詠歌を出しましょう！ その先には、エルサレムでのエスペラント歌祭が、待っていることを信じて！

本誌では毎号、前田茂樹氏によるエス語朗詠短歌の誌上添削講座を行っています。あなたも早速作ってみて、ぜひご応募ください。